

第2学年1組 英語科 授業案

授業者 杉山 貴哉

1 単元 Cool Japan! ～高豊の魅力を世界へ伝えよう～

2 本学年で育成したい英語科における思考力

・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文を書いて伝えたり、質問をしたりする。

3 単元目標

(1) 豊橋や高豊校区の魅力について興味をもってすすんで調べ、ALTや友達との対話の場面で、積極的に相手に伝えたり、質問をしたりできる。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 既習の文法事項などの知識、表現集や辞書を活用して、豊橋や高豊校区の魅力について書いたり発表したりできる。 【外国語表現の能力】

(3) トリードの人からのメールの内容や、友達が伝えたい豊橋や高豊校区の魅力がわかる。 【外国語理解の能力】

(4) 不定詞、接続詞などの既習の文法と、There is 構文を状況に応じて正しく用いることができる。

【言語や文化についての知識・理解】

4 本単元(表現力)の系統性

小学3・4年	小学5・6年	中1	中2	中3
簡単な英語で好きなものについて伝え合う I like～. I want to～ 【食べ物】【国】 【スポーツ】	簡単な定型表現を使って自分のことを伝え合う。 What～ do you like? ～is famous for… 【好きなもの】【食べ物】	自分自身のことや体験したことなどについて発表する。 【和食を紹介】	自分自身のことや様々な主題について、まとまった内容で発表する。 【高豊校区を紹介】	自分自身のことや様々な主題について、情報や自分の考えが正しく伝わるよう、まとまった内容で発表する。 【日本文化を紹介】

5 単元構想 ～子どもの学びをとらえ、見通す～

(1)子どもをとらえる

【小学校】子どもたちは小学校で英会話を楽しみ、様々な表現に慣れ親しんでいる。3、4年生では、食べ物、スポーツなど身近な単語を使って、「I like～」「Do you like～?」など自分の好きなことを言ったり、友達に聴いたりする活動をしている。5、6年生では、「What～do you like?」を使って友達の好きなことを聴いたり、「～is famous for…」の表現を使って有名なものについて発表をしたりするなど、簡易な定型表現を使って表現する経験をしている。また、相手によく伝わるように「Clear Voice」「Eye Contact」「Gesture」などのポイントを意識したり、会話を円滑するために、「Great!」「Me, too.」「Really?」などのつながり言葉を使ったりする経験も積み重ねてきた。

【中学校】小学校の英会話の経験をもとに、1年生ではbe動詞、一般動詞や疑問詞を使用した言語活動を行ってきた。本校のALTは、子どもたちが5年生の時から継続して指導しているため、英会話の授業についても生徒が積み重ねてきたクラスルームイングリッシュなどの表現を生かして活動を行っている。

1年生の単元「和食の素晴らしさを発信しよう」では、友達と話し合ったり、辞書や表現集などを活用したりして、おすすめのと食について表現することができた。単元の最後には英字新聞を作成して豊橋市の国際交流協会に掲示し、日本に住んでいる外国人に伝えることができた。

2年生の7月の単元「世界の国の魅力を再発見！2年1組ワールドツアー」では自分の行きたい国とその魅力を友達やALTに伝える活動を行った。小学校の第1ステージで国名に慣れ親しみ、第2ステージでは「I want to go to～.」の表現を使った経験を生かして、自分が行きたい国についてより詳しい内容や表現を考えて友達に伝えることができた。振り返りには「もっと詳しく英語で言ってみよう」「外国の人に伝えてみたい」ということが書かれていた。このような思いはコミュニケーションの基盤になる。こうした子どもたちの思いを大切に、それを伝えるための表現力の育成をめざしていきたい。

(2)学びをとらえる

表現力を追究していくためには、子どもたちの意欲を喚起し、「なんとかして伝えたい」「もっと詳しく伝えたい」と思うような題材を用意するとともに、英語を伝える機会を設定することが大切である。そこで、本単元では豊橋や高豊校区の魅力をトリードの学生に伝えるという課題を設定する。姉妹都市であるトリードの学生は、夏休みに豊橋市でイングリッシュキャンプを行っている。日本のことに興味をもっているが、豊橋市やキャンプを行っている高豊校区のことをあまり知らないという現状がある。自分たちが住んでいる地域は、小学校で調べ学習を行っており、子どもたちにとってイメージが湧き、表現しやすい題材であ

る。また、身近であるからこそ、どのように英語で表現したらよいか興味をもって調べたり、よく知っているからこそ切実感をもって伝えようとしたりすると考える。英作文の場面では、既習の語彙や文型を駆使して、トリードの学生に正しく伝わるように書けるようにしたい。追究してきたことは、パンフレットと PR 動画の二つの方法で発信をすることで、書く力と話す力の両輪を育成する。こうした活動を通して、外国の人に英語が伝わったという喜びや楽しさを味わい、主体的に英語表現を追究する子どもたちを育てたい。

(3)学びを見通す

単元の導入では、「トリードスーパーイングリッシュキャンプにカメラが潜入」と題して、高豊校区内で夏休みに行われた英語体験活動の様子やトリードの学生からのメッセージを動画で紹介する。積極的にコミュニケーションを図る子どものモデルを紹介したり、高豊中学校の子どもに向けた英語でのメッセージを聞いたりすることで、外国の人とコミュニケーションをとりたいという思いをもつことができるようにする。また、「豊橋とトリードが姉妹都市である」「トリード大学の学生は豊橋に興味をもっている」「高豊に来ているが校区のことはほとんど知らない」「来年豊橋に来る予定の人もいる」という情報を子どもたちに伝えることで、「自分たちが住んでいる豊橋や高豊校区について教えた」と動き出す子どもたちの姿を期待したい。実際にメールを送ることで、自己紹介をしたり、どのようなことに興味をもっているかを聞いたりする。

メールが返ってきた後で、校区の魅力について意見交流を行う。今までの生活経験や小学校での学びを想起してマインドマップでまとめ、校区のよさを再認識する場としたい。また、豊橋や高豊校区に関する本をブックトラックに入れて教室に置くことで、いつでも見ることができるようにする。英作文をする場面では、「I love Toyohashi!」、「豊橋市の英語版のパンフレット」などのモデルや表現集を活用することで自分の伝えたいことを表現することができるようにしたい。文構造を意識するためにブロックを使って文を組み立てたり、難しい表現はパラフレーズして、簡単な文に言い換えて表現したりする。できた文については豊橋にいるトリード出身の ALT に見せ、アドバイスや質問をもらうようにする。友達と話し合いながら質問に答えたり、アドバイスを生かしたりすることで表現をよりよいものにできるようにしたい。また、本校の ALT にも伝える場面を設定することで、英語が伝わったという喜びを感じるようにしたい。

追究してきたことを発信する場面では、PR 動画とパンフレットにしてトリードの学生に伝えることで、追究してきた英語表現が伝わったという喜びを感じるようにしたい。見通しをもって活動できるようにするため、豊橋市の外国人向けのパンフレットや PR 動画をモデルとして紹介する。動画制作では、正しい発音やイントネーションに気をつけることはもちろん、アイコンタクトをカメラ目線として生かしたり、相手に伝わりやすくするためのジェスチャーを意識したりする。

振り返りの場面では、トリードの人からの感想を読んだり、単元のふりかえりの時間をとったりすることで、自分自身の成長を実感し、自信をもって次の学びへと動き出すことができるようにしたい。

【高豊中英語科で思考力が働いていると考えられる姿】

①伝える内容(題材)について深める【★Theme】

・自分が伝えたい豊橋市や高豊校区の魅力について、調べたことや、友達と話し合ったことなどを通して、トリードの人が理解したり興味をもったりできる内容になるように工夫している。

②自分で伝えたいことを書いたり話したりする場において【★Expression】

・自分の伝えたいことを既習の文法表現を駆使して話したり、辞書や表現集などを活用しながら表現を書いたりして工夫している。

・伝えたいことを表す語彙や表現が思い浮かばないとき、パラフレーズして簡単な意味の表現を使う。

③コミュニケーションをする場において【★Communication】

・相手の話を聞いて、会話を円滑にするためにつなぎ言葉を活用したり、会話を深めたり広げたりするために既習の文法表現を駆使して質問をしたりする。

・自分の意思を相手にわかりやすく伝えるために、ジェスチャーやアイコンタクト、表情などを意識する。

6 単元構想図(12時間完了)

※教師支援

和食の紹介ができたよ(1年) 海外の人と交流したいな(2年7月)

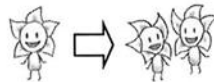
〔 夏休みにトリードの人が高豊校区にやってきたよ 〕 ① ※1



- ・トリードが豊橋の姉妹都市なので、高豊のことを初めて知ったよ。知らないみたいだね。
- ・日本に来たのは初めてで、高豊のことも知って知っているよ。
- ・ビデオメッセージで日本の文化に興味があるよ。

トリードの人と交流したいな

〔 トリードの学生にメールを送ろう 〕 ②③ ※2



- ・英語の名刺を初めて見たよ。このアドレスにメールを送ってみよう。
- ・日本のどんなことに興味がある具体的に聞いてみよう。
- ・1年生のときの自己紹介や学校紹介の文が使えるそうだね。

メールの返事が楽しみだな

〔 豊橋や高豊校区の魅力って何かな 〕 ④ ※3・4



- ・トリードは工業が盛んだね。豊橋や高豊で盛んな農業の紹介をしよう。
- ・校区の祭りや行事についても伝えたいな。
- ・表浜の海岸は自慢だね。小学校の時にアカウミガメについて調べたよ。

自分たちの地域には魅力がいっぱいあるね

〔 豊橋や高豊校区の紹介文を考えよう 〕 ⑤⑥ ※5



- ・難しい表現は簡単な言葉にしてから考えると、書くことができるね。
- ・There is ~を使って、校区にあるものを伝えることができるね。
- ・「I love Toyohashi」や表現集を使って、書くことができたよ。

書いたことがうまく伝わるかな

〔 発表の内容をより詳しくしよう 〕 ⑦ ※6 (本時 7/12)



- ・興味をもってもらえるように内容を詳しくすることができたよ。
- ・伝えたいことを強調したり、分かりにくいところは写真や絵も使って伝えるといいね。
- ・新しい文を考えたり、言葉を足したりして、詳しく説明できたよ。

より分かりやすい文にすることができたよ

〔 Johnny 先生にも伝えよう 〕 ⑧ ※7



- ・Johnny 先生が盆踊りに興味をもってくれたよ。トリードの人にも伝えたいな。
- ・発音の仕方や新しい表現を覚えてもらったよ。
- ・リアクションしたり、質問に答えたりすることができて嬉しかったよ。

Johnny 先生がほめてくれたよ。トリードの人にも伝えたいな。

〔 ガイドブックと PR ビデオを作って発信しよう 〕 ⑨⑩⑪ ※8



- ・他の班の発表の内容に合わせて、ページやレイアウトを考えよう。
- ・豊橋の英語のパンフレットは、タイトルもシンプルでわかりやすいね。
- ・動画で分かりやすく伝えるために、ジェスチャーや表情も大切だね。

完成したよ！トリードの人に見てもらおう！

〔 メールが返ってきたよ (単元のまとめ) 〕 ⑫ ※9



- ・トリードの人に興味をもって読んでもらえて嬉しいな。
- ・自分の言いたいことを伝えるときに、たくさんの表現方法があるんだね。
- ・トリードの人に聞かれたことを英語で答えることができてうれしかったよ。

これからも興味があることを調べて、英語で伝えたり聞いたりしたいな

※1: 問題意識をもったり、国際交流への意欲を高めたりするため、イングリッシュキャンプの様子や、トリードの学生からのビデオメッセージを動画で紹介する。

※2: メールで伝えることをまとめるため、1年生の時に学習した内容を想起し、個人、グループの順で文を考える。

※3: 追究課題についていつでも調べることができるようにするために、関連図書やモデルとなる英語版のパンフレットをブックトラックにまとめて教室に置く。

※4: 伝えたい内容を膨らませるために、マインドマップを使って話し合う。

※5: 伝えたい内容を表現するため、語順ブロックを使って文構造を意識して英作文をしたり、「I love Toyohashi」や表現集などのモデル文を活用できるようにしたりする。

※6: より詳しい内容にするために、トリード出身の ALT に見てもらえる機会を設定し、その質問やコメントを生かせるようにする。

※7: 追究してきた英語表現が伝わったという喜びを感じることをできるようにするため ALT に伝える場面を設定する。

※8: 見通しや具体的なイメージをもって活動できるようにするため、豊橋市の外国人向けのパンフレットや動画を紹介する。

※9: 学習を振り返る場を設定することで、自分が学んできたことに達成感をもたせられるようにする。

7 本時の授業

(1) 目標

トリードの人により詳しく伝わるように、ALT からの質問やアドバイスを生かして表現を工夫することができる。 【外国語表現の能力】

(2) 授業構想

前時までには、豊橋や高豊校区について調べ、「I Love Toyohashi」, 「豊橋市の英語版のパンフレット」や表現集を活用して個人とグループで文章にすることができた。追究してきたことをまとめられた喜びを感じると同時に、外国の人がどのような感想をもつか気になった子どもたちに対して、他校のトリード出身の ALT に制作中の PR 動画を見てもらう機会を設定した。

本時では感想とともに ALT からの質問を多数見せ、質問に答えようと動き出す姿を期待する。前半では、ALT からのアドバイスや質問の内容を動画で紹介しながら、改善のポイントを確認していく。後半では、グループで質問の内容を発表に取り入れたり表現方法を工夫したりすることで、自分たちの発表をより詳しい内容にしていけるようにしたい。

(3) 展開

時間 (分)	<p>● [Warm up] Greeting & English song ※1 ※教師支援</p> <p>3 (トリードの出身の ALT からこんなに質問がきたよ ※2) </p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ウミガメが来る時期は？ ・花の名前は？ ・動物園は何の動物がいる？ </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・覚えてジェスチャーをつけよう ・日本の名前はゆっくりと ・interesting は楽しそうに </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> 詳しく説明しよう (黄) 形容詞、副詞句 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> 発表の仕方を考えよう (青) ゆっくり読む・笑顔で など </div> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 評価 (評価の方法) </div> <p>※1: 英語を話す雰囲気を作るため、英語の歌を歌う時間を設ける。</p> <p>※2: よりよい表現を追究するための視点に気づかせるために、トリード出身の ALT からの質問やアドバイスを動画で視聴する。</p> <p>※3: 視覚的にわかりやすくしたり整理したりできるようにするため、表現を考えるポイントを色で示し、話し合いでは付箋を活用する。</p>
20	<p>(質問を生かして発表の内容をより詳しくしよう ※3 ◎1)</p> <div style="border: 2px dotted gray; padding: 10px;"> Takatoyo has beautiful nature. We call it Omotehama beach. Many people can surf there. Sea turtles lay eggs on the beach every year. If you see turtles, you are lucky. Our school goes to there to clean the beach. Around the beach, there is a lot of nature, too. You can see rare flowers. They are very beautiful. </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ・ from June to August を文の最後に加えると時期を伝えることができるね。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ・ Omotehama (表浜) は、きっと初めて聞く言葉だから、ゆっくりと読もう。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ・ 花の名前を聞かれたから、We call it~を使って伝えることができるな。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ・ beautiful や lucky は、明るく笑顔で伝えよう。 </div> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎1: ALT からの質問やアドバイスを生かして、発表の内容や表現方法を工夫しようすることができたか。 (活動の様子) </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ■ 対話をしたり、ヒントの文を活用することを促したりする。 </div>
40	<p>● グループで発表</p>	
45	<p>● 本時の学習を振り返る ◎2 </p> <p>・トリードの人が興味をもってもらえるように工夫することができたよ。</p> <p>・伝えたいことを強調したり、相手がわかりにくいところは写真や絵も使って伝えることができるね。</p> <p>・新しい文を考えたり言葉を足したりして、より詳しく説明することができたよ。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎2: 英文や表現方法を工夫することができたか。 (活動の様子・振り返り) </div>
50	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 伝えたいことを、より分かりやすく表現する工夫を見つけたよ。 </div>	

(4) 評価 (外国語表現の能力)

・話し合いを通して、英文や表現方法をより豊かにしようとすることができたか。